

令和7年度



品川コミュニティ・スクール

成果事例集



分類 学習支援・環境整備支援・その他（行事支援 働き方改革 地域連携 一貫プラン 他）

お神輿の太鼓をたたいてみよう！

3年生 音楽 「和太鼓の授業」

事業の背景・目的

お祭りに参加したくても自分の住む町会がわからない。
この地域のお祭りを好きになってもらいたい。

事業の概要

お神輿と太鼓についてのお話し。
太鼓のたたき方を教え、本物のお神輿の太鼓をたたいてみる。

特徴および工夫した点

お祭り本番同様篠笛を吹いてもらい、お祭りの雰囲気を出す。
お祭りの雰囲気の中でお神輿の太鼓をたたき、お祭り気分を味わうこと。

成果

この授業の後、実際の祭礼があったが
お祭りに興味を持ってくれるようになった。



今後の展望

お祭りに興味を持つ児童を増やして、地域の伝統行事であるお祭りを
継続していきたい。

児童・生徒の感想

初めてお神輿の太鼓をたたいたが、とても面白かった。

学校紹介 学校名 品川区立城南小学校
校長名 三浦 公平
住所 品川区南品川 2-8-21
電話 03-3471-7919
URL <https://jonan-es.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 29年度
登録ボランティア数 14名
学校地域コーディネーター 石井 義人



分類 その他（地域連携）

「よりよい浅間台小学校にしていくためには」 クリーンレンジャー（地域清掃）実施

事業の背景・目的

コミュニティ・スクール DAY に向けて児童が話し合った中で、「学校をきれいにした
い」という意見があった。そこで、学校だけではなく、毎日登下校している通学路を始め
とした、地域の清掃をすることとした。

事業の概要

地域清掃を行うことで、本校の教育活動へ理解、協力いただいている地域の方々に
感謝の気持ちを表すための機会とする。

特徴および工夫した点

児童が自主的に活動できるように、1～6 年生によるたてわり班での実施とした。上
学年が積極的に声掛けし、すすんで参加している児童が多かった。

成果

地域の現状を知ることによって、「きれいな浅間台を保ちたい」とこれからの
自分の行動に繋がる活動となった。



今後の展望

年 1 回の取組ではあるが、今後は
保護者参加をより多くして、地域美化
への意識向上を図りたい。

児童・生徒の感想

「思ったよりごみが落ちていなかった。」「たばこの吸い殻が多くて
驚いた。」などの感想が多かった。

学校紹介

学校名 品川区立浅間台小学校

校長名 谷脇 仁

住所 品川区南品川 6-8-8

電話 03-3474-2727

URL

品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 29 年度

登録ボランティア数 34 名

学校地域コーディネーター 北見 明子



浅間台小学校
開校 100 周年記念キャラクター

分類

学習支援・環境整備支援・その他（行事支援 働き方改革 地域連携 一貫プラン 他）

自分たちが住んでいる町はどんな工夫をしているのか調べよう

4年生「みつぎの防災マップづくり」

事業の背景・目的

自分たちの住んでいる町は、災害のためにどのような備えをしているのか、危険な場所はないか、実際に見たり質問したりして調べることで、子どもたちの防災意識を高めていく。

事業の概要

4年生の授業で毎年行っている。子どもたちを住んでいる町会にグループわけをして、防災倉庫を見せていただき、各町会でどのような工夫をされているのか調べる。まち歩きで、危険な場所や気を付けた方がいいところを調べる。

特徴および工夫した点

課題は毎年各町会の町会長さんにお願ひし、防災担当の方に日程調整などをしていただくのがたいへんです。今年度も二日日程を決め、町会の防災倉庫の見学をする日と、まち歩きの日とグループごとに変えて調整をしました。

成果

11月の学習発表会で自分たちの足で情報を集め、見てきたことをまとめ発表した。保護者も興味深くみていた。



今後の展望

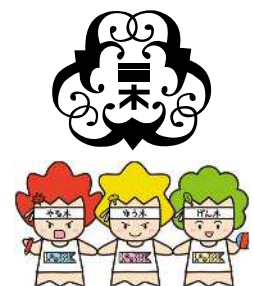
今後も六町会の皆様にご協力をお願いし、子どもたちの防災意識を高めていきたい。

児童・生徒の感想

防災倉庫には火事の時に使うポンプなどがあつた。
いつも遊んでいる坂で事故があつた。自転車は気を付けようと思う。

学校紹介

学校名 品川区立三木学校
校長名 高田 大
住所 品川区西品川3丁目16番28号
電話 03(3491)0404
URL <https://mitsugi-es.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 30年度
登録ボランティア数 90名
学校地域コーディネーター 長井 純子



分類 その他 (地域連携)

ごてんやま夏祭り

事業の背景・目的

地域とのつながりが希薄化する中、児童・保護者・地域住民の交流を深める機会を創出、また児童の健全育成と地域連携の充実を図る。

事業の概要

学校施設である校庭を活用し、保護者や地域と連携して夏祭りを実施。どじょうつかみや手持ち花火等、近隣公園では実施の難しい体験的活動を取り入れ、児童が主体的に参加できる事業を設ける。

特徴および工夫した点

保護者や地域、卒業生や在校児童と役割分担をし、企画段階から協働すること。安全管理を徹底しつつ、非日常の体験を取り入れ、学校ならではの安心できる環境のもとで実施、保護者や地域の交流も重視する。各ブースは児童や卒業生が中心となり運営、大人がサポートすることで子どもたちの活力ある祭りの雰囲気となった。

成果

児童の主体性や社会性、協働性が高まり、地域との環境強化が図られた。

今後の展望

継続的な行事として定着させ、地域と学校の連携をさらに深める。



児童・生徒の感想

- ・自分が考えたものが売れたときはうれしかった (小4女子)
- ・家族で花火ができてたのしかった (小2男子)

学校紹介

学校名 品川区立御殿山小学校
校長名 宮崎 朋子
住所 品川区北品川 5-2-6
電話 03-3441-0814
URL <https://gotenyama-es.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 95名
学校地域コーディネーター 土屋



分類 学習支援

～探究的な学習「昔の品川宿の暮らし」～

しながわ宿場まつりについて

事業の背景・目的

5年生が、地域の歴史や文化を学ぶ中で「しながわ宿場まつり」に着目。「しながわ宿場まつりは、どうして今も続いているのだろう」という問いを立て、実際にまつりの実行委員長である大橋様に話を聞くことになった。

事業の概要

しながわ宿場まつりの記録写真や動画を見ながら、まつりの歴史や目的について説明。まつりに込められた思い、運営する上の変り、まつりを続ける理由など、神社仏閣の祭礼ではないまつりを地域の皆が一丸となって作っているということをお話しいただいた。

特徴および工夫した点

事前の打ち合わせで、「伝統」をキーワードにお話をさせていただくことに決めた。旧東海道まちづくり協議会の竹中様にもお手伝いいただき、まつり以外の、品川宿や旧東海道の取組についても説明していただいた。

成果

- ・「伝統」とは、ずっと同じことの繰り返しではなく、その時代の意見を取り入れながらアップデートし、それが、長く続く秘訣だとわかった。
- ・「伝統」を守るためのリーダーの役割についてのお話は、来年度、6年生になり全校児童をまとめる役としての心構えにつながった。



今後の展望

地域のまつりについての学習は、地域行事への興味や参加意欲につながるため、まつりの開催の直前にこのような授業を行いたい。

児童・生徒の感想

- ・ 私たちに、何か手伝えることがあるだろうか。
- ・ 「品川っ子」という言葉が印象に残った。
- ・ 次のまつりのときは、今までと違うところを見て楽しもうと思った。

学校紹介

学校名 品川区立城南第二小学校
校長名 三浦 一輝
住所 品川区東品川 3-4-5
電話 03-3471-7481
URL <https://jonan2-es.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 29 年度
登録ボランティア数 67 名
学校地域コーディネーター 五月女 祥子



分類 学習支援

夢を見つけよう。未来のヒント。

しながわドリームジョブ

事業の背景・目的

進学を間近に控えた6年生が、その先の未来で待っている「職業に就き、社会の中で働く」ことへの意識を高めるため、地域の様々な職業の方を講師としてお招きし、直接話を聞いたり質問したりすることで、将来のことを考えるきっかけとした。

事業の概要

講師の職業について事前学習をする。当日は、6年児童を10名程度の8グループに分け、各ブースにいる講師の話を聞く。1ブースの講義は10分、質疑応答5分とし、2つのブースを回る。

特徴および工夫した点

美容師、ショコラティエ、理学療法士、看護師、空間デザイナー、ゲーム制作者など8種の職種の方に依頼をした。また、事前学習を行う際に参考となる講師の職業について紹介する資料を作成した。

成果

実際に働いている方から直接話を聞くことで、その職業についての理解を深めることができた。将来のことに目を向ける契機となった。



今後の展望

幅広く講師の方々を地域から見つけ出し、学校と地域をつないでいきたい。

児童・生徒の感想

自分の好きな事や得意な事を活かして仕事ができるよう、いろいろなことを勉強していきたいと思った。

学校紹介 学校名 品川区立第一日野小学校
校長名 大関 浩仁
住所 品川区西五反田 6-5-32
電話 03-3492-6258
URL <https://school.cts.ne.jp/hino1/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 29年度
登録ボランティア数 54名
学校地域コーディネーター 出口 智子



分類 **学習支援**・環境整備支援・その他（行事支援 働き方改革 地域連携 一貫プラン 他）

～～～ 環境を学び、感じて、考える ～～～

4年生 (株)寺岡精工ショールーム見学

事業の背景・目的

本校の向かい側にある(株)寺岡精工さんのショールームには環境問題に対応する様々な機械が展示されている。5年前に1度、4年生がショールーム見学を実施したことがあったが、その経緯を知る担当者がおらず実施できていなかった。今回、先方より見学のお声がけをいただき、4年生が食品ロスや海洋プラスチックなどの問題について考えるきっかけとする。

事業の概要

4年生4クラスが1クラスずつ訪問し、(株)寺岡精工さんの①ボトルスカッシュ、②自動包装計量値付機、③量り売り、④ライナーレスラベル、に関する機械のうち①～③の機械についての説明を受け、体験させていただき、現在の環境状況やそれを改善するための(株)寺岡精工さんの取り組み、環境問題に対して個人でもできることなどについて話を聞いた。

特徴および工夫した点

先方担当者と事前に打ち合わせを何度かして、1クラスずつ1時限の見学をすること、ショールーム内の3つの製品についての見学をすること、1クラスをあらかじめ3つのグループに分けておき、1か所12～13分で順番にまわること、などを決めておいた。ショールームには社員の方が10名程いらっしゃり、児童へ説明・サポート等をしてくださいました。

成果

児童はペットボトルの廃棄量やまだ食べられるのに捨てられる食品量の多さを知り、ペットボトルをリサイクルすることや食べられる量を買うことの大事さを感じていた。

今後の展望

環境問題に対応する機械を実際に見て説明を聞ける機会はないので、見学を継続してできるようにし、他の環境学習(森林など)ともつなげた学習に発展させていきたい。



児童・生徒の感想

ペットボトルはちゃんとリサイクルしようと思う。秤に載せるだけで品名と値段のシールが出てくるのに驚いた。食品用のガスでおいしく食べられる時間をのばせるのがすごい。

学校紹介 学校名 品川区立芳水小学校
校長名 高木 圭一
住所 品川区大崎 3-12-22
電話 03-3491-1555
URL <https://school.cts.ne.jp/hosui/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 162名
学校地域コーディネーター 清水 真由美



クスク くすじい

分類 授業支援・その他 (地域連携)

～わたしたちの町のすてきはっけん～

かえってきた 2年生 三日野町たんけん

事業の背景・目的

長年、地域の多様な場所に2年生が訪問し見学とインタビューを行ってきた。コロナ禍を経て、今年度より従来通りの学校支援ボランティアが児童を引率していく形式が復活した。それにより、児童自らが知りたいことがある、聞きたいことがある場所を見付け提案し、担任と地域コーディネーターで訪問先に協力の依頼をすることができた。活動を通して、地域に親しみや愛着をもち、マナーを身につけ、発信していく力を培っていく。

事業の概要

2年生 生活科の学習として グループごとに施設(公共施設・店舗)の見学・インタビューを行う。
そして、それらをまとめ、探究学習発表会にてグループごとに発表を行う。

特徴及び工夫した点

- あらかじめ児童からの質問を訪問先にお渡しする、意義を説明する、など丁寧にすすめた。
- 児童が安全にまちたんけんに行けるよう学校支援ボランティアを手厚く配備した。

成果

- 自分たちが暮らしている町での出会いを通して親しみや愛着をもつことができた。
- 活動の意義やねらいを前もって訪問先に説明をすることにより、短時間でも実りが多かった。



今後の展望

来年度も訪問先とのご縁を大切に、地域の魅力を2年生と発見していきたい。

児童・生徒の感想

- わたしたちの町には「すてき」がたくさんあることがわかった。おうちの人ともまた行きたい。
- 探究学習発表会では、どうしたら聞いている人に発見したことを多く伝えられるかどうかを話し合って工夫した。
- 探究学習発表会では緊張した。ゆっくり大きな声で、聞いてくれている人の目を見て発表ができた。
- 発表の後、質問してもらえて嬉しかった。お礼のお手紙を書く時にも、そのことを書いた。

学校紹介

学校名 品川区立第三日野小学校
校長名 松本 覚
住所 品川区上大崎 1-19-19
電話 03-3441-6452
URL <http://school.cts.ne.jp/hino3/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 150名



分類 授業支援・その他(地域連携)

地域の皆さんと共に

探究学習 防災 ～校内のトイレを災害用トイレに～

事業の背景

第三日野小学校では、5年生が「防災」をテーマに探究学習に取り組んだ。地震、火災、津波、風水害、火山のテーマのうち、更に自助、共助とチームを作り、自らが立てた問いや課題にむけて、情報収集・整理・分析を行い、解決策や気づきを見出し、探究学習発表会で発表した。その中で、災害時・非常時のトイレについて取り組み、区内防災訓練に参加する地域の方と共に校内のトイレを災害用トイレにすることにチャレンジした。

事業の概要

- ・ 区内一斉防災訓練に5年生が参加させてもらい、児童の力で校内2か所のトイレを災害用トイレにした。
- ・ 探究学習発表会で、その体験での気づきや、学んだことを発表した。

特徴及び工夫した点

- ・ 地域の方と担任の打ち合わせを事前に綿密に行った。
- ・ 品川区全世帯に配られた携帯トイレを5年生が知り、自分たちが率先して家庭で使えるように意識した。

成果

- ・ 災害トイレについて、自助と共助の両方の観点から発表することができた。
- ・ 地域の方と深い交流が生まれ、多くのことを教えてもらった。

今後の展望

この学習が続き、いざという時に5・6年生が学校内の全てのトイレを災害用トイレにできるようにしたい。



児童・生徒の感想

- ・ 防災訓練当日は、災害トイレにするには何が必要かをその場で考えて、もの(資材)を選び選ぶところからスタートしたので、思いのほか難しかった。緊張したけれど、仲間と協力してできたので嬉しかった。
- ・ 地域の方と同じことを担当のクラスメートができているのを見て、誇らしかった。
- ・ 家に帰ったら、自分の家にある携帯トイレも確認したい。

学校紹介 学校名 品川区立第三日野小学校

校長名 松本 覚

住所 品川区上大崎 1-19-19

電話 03-3441-6452

URL <http://school.cts.ne.jp/hino3/>

品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 29 年度

登録ボランティア数 150 名



分類 授業支援・その他(地域連携)

10年、20年、30年とつづく三日野文化 茶道教室 ～和敬清寂・一期一会～

事業の背景・目的

三日野児童と茶道との出会いは平成16年度のアメリカンスクールとの交流にあたり、当時保護者であった茶道講師今井先生が授業補助を引き受けてくださったことがはじまり。平成17年度から茶道クラブ、平成18年度から市民科茶道教室と、よりよい市民科学習を目指して継続して今井先生が授業を行ってくださっている。

事業の概要

- ・ 市民科文化創造領域 市民科「礼ぎの大切さ」 日本文化の礼儀作法を知る。
- ・ 3年生と4年生、2年連続で茶道授業を体験する。

特徴及び工夫した点

- ・ 児童の様子実態をよく知っていたいという講師による授業が三日野の伝統・文化となっている。
- ・ 和室での茶道授業にあたり、講師や担任と打ち合わせを行った。

成果

- ・ 和室内で本物の設えを体感し、挨拶、言葉遣い、立ち振る舞い、姿勢を味わうことができる。
- ・ 思いやりの態度や感謝の気持ちを育む時間となり、礼儀の大切さに気が付くことができる。



今後の展望

三日野の伝統として続いている和室での茶道授業を続けていくために、ボランティア派遣をつづける。

児童・生徒の感想

- ・ 畳の上に座ったことがなかった。正座は大変だったけれども、先生のように綺麗に座ったり立ったりができるようになりたいと思った。
- ・ いつもの和室の空気が違った。クラスみんなや先生とお茶をきちんといただけ嬉しかった。
- ・ 茶道で学んだように、普段から接する相手に対して大切に思えるようになりたいと思った。

学校紹介 学校名 品川区立第三日野小学校

校長名 松本 覚

住所 品川区上大崎 1-19-19

電話 03-3441-6452

URL <http://school.cts.ne.jp/hino3/>

品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度

登録ボランティア数 150名



分類 学習支援

知ろう、探ろう、広めよう 四日野のすてき 3年生 市民科 学校・地域の探究学習

事業の背景・目的

開校 100 周年を迎える今年度は記念式典に向けて様々な地域の方が関わってくださる。そのような地域や本校について知り、良さを調べることで学校愛や地域愛を育むことを目的とした。

事業の概要

卒業生から本校やこの地域についてインタビューを行った後、自分たちが興味を持った内容について探究学習を行い、見つけた「四日野のすてき」を保護者や地域の方に向け発表した。

特徴および工夫した点

在学中やその頃の地域の様子、また変遷を伺えるようインタビューする卒業生は 40・50・60 代で依頼した。発表会はグループ毎に行ったが、興味を持ったテーマを全員が発表した。インタビューした卒業生も招待し、フィードバックをいただいた。

成果

発表会で緊張した様子だった 3 年生だが、スライドを工夫して最後は楽しんでいた。卒業生からは、大人でも知らない内容があったと好評だった。



今後の展望

探究した地域の行事などに自主的に参加できることを目指す。授業を通じ、児童が地域の一員となり、より良い地域になるよう貢献していくことができる。



児童・生徒の感想

大人に自分が調べた良さが伝わって嬉しかった。地域の人たちが協力したり支えあったりしている事を知って、自分からあいさつをすることで関わっていきたい。

学校紹介 学校名 第四日野小学校
校長名 萩原 忠幸
住所 西五反田 4-29-9
電話 03-3491-1281
URL <https://hino4-es.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 30 年度
登録ボランティア数 90 名
学校地域コーディネーター 清水 陽子



分類 学習支援・地域連携

地域の人から教わり興味・関心を広げる場所

おいち放課後まなびば

事業の背景・目的

R5年の探究学習の中から、放課後に校区教育協働委員長による言語の授業が実現した。それを発展させ、放課後の時間に地域の方から知識を学び興味を広げる場として、年に数回、いくつかの講座を開催している。

事業の概要

「こども美術部」3・4・5・6年生対象、4回実施。／「日本語研究所」4・5・6年生対象 3回実施 / 「けいさんばっちり教室」1・2年生 3学期に3回集中して実施

特徴および工夫した点

放課後の活動なので、すまいるスクールともルールを作り情報共有した。運営にはAC、未来塾指導員にも関わってもらい新規事業の負担感をなくした。

成果

AI時代の子供たちの刺激になるような絵画活動をしたり、日本語研究では普段なかなか触れられない知識を得たりした。計算教室を3学期に実施して、苦手な児童の復習の機会になった。



日本語研究所 6月「日本語検定に挑戦」

今後の展望

計算教室は楽しく続けられる工夫をして、次年度は2学期から行っていきたい。高学年は少ないからこそできる活動をしていきたい。

児童・生徒の感想

もっと計算をやってほしい(計算ばっちり)楽しかった。次回も楽しみ(美術部)知らない言葉を知ることができてよかった(日本語研究所)

学校紹介 学校名 品川区立大井第一小学校
校長名 吉川 信次
住所 品川区大井 6-1-32
電話 03-3771-5240
URL <https://oi1-es.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度平成30年度
登録ボランティア数 114名
学校地域コーディネーター 長沼さおり



分類 その他（貴方）

地域行事への参加 ～お囃子（大拍子）～

事業の背景・目的

地域の夏まつりや行事に参加する児童が少なくなり、継承していくことができなくなる町会の危機感と、どのように参加したら分からない児童との情報交換の場づくり

事業の概要

自分たちの住む地域の伝統的な文化や行事を知り、継承しようとする気持ちをもつ
伝統文化に親しみ、主体的に地域の方と交流し、地域貢献していく

特徴および工夫した点

指導者の高齢化とコロナ禍で5年以上実施できずにいたが、今年度やっと地域の祭礼会の方にご協力いただき実施することができた

成果

地域のお祭りの歴史を学び、実際の演奏を聴くとともに、太鼓をたたく体験もできた



今後の展望

来年度以降も定期的に実施をしたいが、土曜授業日の減少が今後の課題である

児童・生徒の感想

「楽譜というものがなかったので、覚えるのが大変だったけど、みんなで体験ができて楽しかった」など感想があった

学校紹介 学校名 品川区立鮫浜小学校
校長名 中村 英代
住所 品川区東大井2-10-14
電話 03(3765)2844
URL sameshou.gakkousien@gmail.com
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 113名
学校地域コーディネーター 河出賢美



シャークビーチ
ファミリー

分類 **学習支援**・環境整備支援・その他（行事支援 働き方改革 地域連携 一貫プラン 他）

太平洋戦争当時の5年生と今の5年生・6年生

探究学習 15班 SDGs 16 「平和と公正をすべての人に」

事業の背景・目的

探究学習で平和について学んでいる児童たちが、平和や命の大切さについて理解するとともに、平和を実現する方法を自ら考え実行できるようにする。

事業の概要

5年生・6年生で構成される探究学習 15班が平和の大切さを学ぶため、太平洋戦争当時の生活や大井町の様子について地域の方から直接お話を聞く。

特徴および工夫した点

「戦争を体験した人からお話を聞きたい。」と相談を受けた。より自分事と考えられるように太平洋戦争当時の年齢が児童と同じくらいだった方を地域の方からご紹介していただき、山中国民学校5年生で縁故疎開をされた山中小学校卒業生を招いて直接お話を伺うことができた。

成果

戦時中の食べ物がなく辛かったことや疎開の悲しさ寂しさだけではなく、当時の子どもの生きることへの逞しさを知ることができた。「お互いを思いやることが平和に繋がる」と教えていただき、児童たちの探究学習の礎となった。



今後の展望

このような貴重なお話を伺える機会を今後も継続していきたい。

児童・生徒の感想

「家族と離れて疎開をしたり、食べ物が無くてつらかったけれど、今は幸せだ」と聞いて嬉しくなった。

学校紹介 学校名 品川区立 山中小学校
校長名 岩田 環
住所 品川区大井 3-7-19
電話 03-3772-3006
URL <https://yamanaka-es.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 29 年度
登録ボランティア数 70 名
学校地域コーディネーター 三原 美奈子



分類 その他

校内のいろいろな場所で本を楽しもう

特別読み聞かせ「教室をとびだせ!!」

事業の背景・目的

本に親しむイベントとしてブックフェスタに代わるものが新たにほしかったことと、土曜朝の読み聞かせ日が少なくなったのでボランティアの皆さんに特別な環境で活躍していただきたいと考え、校長先生の提案を受けて今年初めて実施した。

事業の概要

1-4年生の読み聞かせを教室ではなく学校中に設けたブースで行う。読みたい本を前もって読み聞かせボラに決めてもらい児童は1週間前までに第3希望場所までのアンケートを提出する。行き先割り振りはCOが行い、番号を振ったブース一覧表を教室に貼る。

特徴および工夫した点

本の内容によってブースの場所を決めた。野菜の話は畑の前、保健室の話は保健室横の階段、押し入れの話はカーテンを閉めて真っ暗にした小会議室のテーブルの上と下に座る、など。低学年が移動に困らないよう4年生に移動リーダーになってもらった。

成果

移動のときから楽しみにしている児童がたくさんいた。ボランティアの皆さんも特別感をとて楽しんでくださった。ブースは全部で18か所になった。



今後の展望

もともと読み聞かせの時間は15分しかなく、移動をするともっと短くなってしまうので、回れるブースを増やすため1時間目まで使うことは可能か検討する。

児童・生徒の感想

渡り廊下ブースだったが、普段では味わえない場所での読み聞かせが新鮮で他の学年の子とも仲良くなれた(4年生)。母が畑の横で自分の好きな野菜の本を読んでいて楽しそうだったのでぜひ行きたかった(5年生)。

学校紹介

学校名 品川区立 立会小学校
校長名 深尾 剛
住所 品川区東大井4丁目 15-9
電話 03-3474-3424
URL <https://tachiai-es.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 2018年度
登録ボランティア数 のべ980名
学校地域コーディネーター 梅内 雪江



分類 学習支援

手話読み聞かせ

事業の背景・目的

聴覚障害の児童や保護者と共に協働・協体験を計画する中で、在籍児童の保護者からペア読み聞かせの提案が出た。手話読み聞かせをとらして障害理解を推進し、全児童に読み聞かせを含む読書のバリアフリーを目指す。

事業の概要

朝の浜川タイム(10~15分)に手話者と通訳者のペアにて手話読み聞かせを実施する。

特徴および工夫した点

読み聞かせの時間に手話を用いることが初だったので学校の指導と提案保護者の想いのすり合わせに時間を要した。打合せをし、練習を重ね動画を撮り、2クラスで実施できた。

成果

児童は食い入るように読み聞かせを真剣に聞いていた。素朴な質問も飛び交い、声が聞こえないことを理解しようとする姿勢も見えた。



今後の展望

読み聞かせも手話読み聞かせも同等に無理なく続くことを目指したい。

児童・生徒の感想

手で話すのは大変かと思っていたけど、口で話すのと同じなのだ聞いてそうなのだと思った。口でも手でもお話したい。

学校紹介 学校名 品川区立浜川小学校
校長名 二宮 淳
住所 品川区南大井 4-3-27
電話 03-3761-0530
URL <https://hamakawa-es.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 28年度
登録ボランティア数 60名
学校地域コーディネーター 内山 さとみ



分類 学習支援 環境整備支援・その他（行事支援 働き方支援 地域連携 貴方）他）

地域と消防団と学校で考える防災 区内一斉防災訓練（4年・5年・6年）

事業の背景・目的

区内一斉防災訓練では、児童が町会の方とのふれあいを重視し、町会の一員であることを認識するとともに、町会とのつながりをもたせることを目的としている。

事業の概要

4年生は「災害時取る行動」をテーマに町会の方と減災カードゲームを、5年生は「災害を知る」をテーマに消防団の方と体験学習を、6年生は「災害前の日ごろからの備え」をテーマに町会の方と防災学校の講義を受講した。

特徴および工夫した点

事故や災害が起きた時に、地域の中に知っている大人が一人でも多くなるように、日頃から地域の方とのつながり方を考えていた。2年に一度の機会なので、3学年での交流授業を行った。

成果

4年生・6年生は地域の方と一緒に考え、積極的に話し合う姿が見られた。5年生は説明をよく聞き、意欲的に質問をしていた。

今後の展望

子どもだけではなく保護者にも参加してもらい、地域のことを家庭で話すきっかけになる授業になっていたら良いと思う。

児童・生徒の感想

「地域にある消火器の場所を知っているよ。」と関心をもって話を聞いていた。「地域の人たちと話ができる機会がもっと欲しい。」との意見もあった。



学校紹介 学校名 品川区立伊藤小学校
校長名 齊藤 直彦
住所 品川区西大井 5-6-8
電話 03-3771-5331
URL <http://school.cts.ne.jp/ito-e>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 25名
学校地域コーディネーター 植本 理恵



分類 学習支援・環境整備支援・その他（行事支援 働き方改革 地域連携 一貫プラン 他）

図書ボランティア 読み聞かせ・装飾

子どもたちの感性・想像力を育てる

事業の背景・目的

本を読むことに、興味をもたせる・想像力と感性を育てる。
手作りの装飾をし、読み聞かせをした本を紹介する。

事業の概要

毎月最終水曜日の朝、図書ボランティアさんたちが各クラスで読み聞かせを行っている。
廊下に季節毎に手作りの装飾や、卒業生へしおりのプレゼントを行っている。

特徴および工夫した点

定期的に担当教職員と打ち合わせをし、ボランティアさん同士でも情報交換を行っている。

成果

読み聞かせを継続していて、子どもたちが毎回楽しみにしている。
本の貸し出しが増えた。



今後の展望

ボランティア募集を定期的に行い、読み聞かせを実施できないクラスがでないようにしていきたい。

児童・生徒の感想

みんな読み聞かせを楽しみにしている。楽しい場面だと、声が出るほど盛り上がる。

学校紹介 学校名 品川区立鈴ヶ森小学校
校長名 吉野 早織
住所 品川区南大井 4-16-2
電話 03-3763-6631
URL <https://suzugamori-es.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 28 年度
登録ボランティア数 80 名
学校地域コーディネーター 竹下 美加



分類 **学習支援**・環境整備支援・その他（行事支援 働き方改革 **地域連携** 一貫プラン 他）

地域の専門家に学ぼう

「グローバル・ダイバ・プログラム」

事業の背景・目的

長期休業前の個人面談期間の放課後に特別講座を開講するにあたり、地域人材の活用、児童の多様な学習への興味・関心、向上心の育成、苦手の克服などに応じることができると考え事業を実施。

事業の概要

教員が行う理科・音楽・図工・保健の講座に加え、未来塾事業を活用し、英語・手話・書写、ボッチャなどの学習支援員をお招きして、1～6学年に向け幅広い学習体験の機会を増やした。

特徴および工夫した点

講座ごとに児童の発達段階に合わせて対象学年を設定して、希望制とした。希望が多い場合は、児童を集めて抽選を行った。

成果

学校学習とは異なる多様な講座、講師から、自らが学ぶことの楽しさを知り、日常の学習への意欲に繋がたい。また、地域の方の専門性を生かした講座を増やし、児童の興味・関心に応じられるようにしていく。



児童・生徒の感想

- ・書き初めをじっくり教えていただきよい字を書くことができた。
- ・少し手話ができるようになったので使っていきたい。

学校紹介 学校名 品川区立台場小学校
校長名 滝淵 正史
住所 品川区東品川1-8-30
電話 03-3471-3397
URL <https://daiba-es.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 29年度
登録ボランティア数 30名
学校地域コーディネーター 和田 富士子



分類 学習支援・環境整備支援・その他（行事支援 働き方改革 地域連携 一貫プラン 他）

地域のお祭りを盛り上げよう！

金管バンドクラブ 校外で演奏

事業の背景・目的

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、それ以前にあった「戸越銀座まつり」の中止、昨年まであった「区民まつり」の舞台演奏の企画が中止となったことにより校外での演奏の機会がなくなっていた。

事業の概要

戸越銀座商店街「ふるさとフェスタ」（7月）および戸越八幡神社「新嘗祭」（11月）での演奏。

特徴および工夫した点

今年度転入の音楽専科教員より「児童のモチベーションアップのために校外での演奏を希望している。」との依頼を受け、戸越銀座商店街や連携校 戸越台中学校の学校地域コーディネーターに相談し、実現した。

成果

児童は校内とは違う大勢の観客の前での演奏に緊張しながらも、大きな拍手をもらい自信をつけ、活動へのモチベーションアップにつながった。



今後の展望

「ふるさとフェスタ」は今年度限りだが、「新嘗祭」は来年度も参加を考えている。

児童・生徒の感想

初めての場所での演奏だったのですが、仲間と一緒にだったのでそんなに緊張せずに演奏できました。たくさんのお客さんに聴いていただき嬉しかったです。

学校紹介 学校名 品川区立京陽小学校
校長名 遠藤 和朗
住所 品川区平塚 2-19-20
電話 03-3781-4775
URL <https://keiyo-es.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 38名
学校地域コーディネーター 岸 朱実



分類 学習支援・環境整備支援・その他（行事支援 働き方改革 地域連携 一貫プラン 他）

剣道体験

みんなで竹刀を振って面、小手、胴！

事業の背景・目的

剣道は、刀剣を使用して相手と戦う技術を発症の起源とし、日本独自の考え方を取り入れながら発展してきた伝統的な運動文化。5、6年が剣道を体験し伝統文化を学ぶ

事業の概要

講師の方から剣道の歴史、概要の講義を受けた後に実際に講師の方の指導を下に竹刀を以って、面、小手、胴を打ち込んでいく。

特徴および工夫した点

技を決めるのに、実際に技の名前を声に出して決めないと認められないので、大きな声で出すよう、講師の方々が見本で出されていた

成果

全く予備知識もない中、素振りから始まり、最後は防具を使って相手に打ち込む体験までできた。



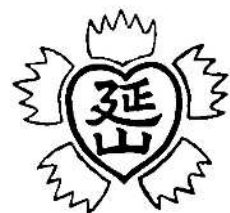
今後の展望

「伝統文化」を学ぶにあたり、地域の方を活用して続けていきたい

児童・生徒の感想

先生の声の大きさに最初は声が出なかったけど、出していくうちに声が出るようになり、竹刀で打てるようになりました。

学校紹介 学校名 品川区立延山小学校
校長名 尾上 佐智子
住所 品川区西中延 2-17-5
電話 03 (3781) 3806
URL <https://enzan-es.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 H30 年度
登録ボランティア数 26 名
学校地域コーディネーター 阿部 多喜子



分類 学習支援（地域連携）

4年生・市民科「見つけてみよう私のしごと」

事業の背景・目的

仕事は自分のよさを生かせるものであることを知る。
将来の夢を実現させるためには、目標をもって努力することが大切であることを理解する。

事業の概要

ワールドカフェ方式。講師が児童の質問に答える形で、10分程度仕事について話を
する。時間が来たら班ごとに次の講師のところへ移動し、それを3回繰り返す。

特徴および工夫した点

本年は、ピアノ講師、もんじゃ焼き店主、品川区役所員の3名を招き、それぞれの職
業についての話を聞いた。ピアノ講師の方がピアノの発表会の動画を見せてくれた
り、もんじゃ焼きの店主が食べ物屋の一日の説目下くれたり内容が多岐に渡り充実
していた。（ネイリストの方もお越しいただく予定でしたが体調不良でお休み）

成果

質問に答える講師陣の話の拡げ方が
巧みで、児童の表情に楽しさと、驚き
が見てとれた。



今後の展望

来年度以降も、引き続き実施予定。
次年度は他学年（5年生他）にも広げ
たい

児童・生徒の感想

「知らない話をたくさん聞けて楽しかった。」「好きなことを仕事に
すれば毎日楽しいということを教わった。」

学校紹介

学校名 品川区立中延小学校
校長名 中郡裕帰
住所 品川区中延1-11-15
電話 03-3781-4016
URL <http://school.cts.ne.jp/nakanobu/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 H29年度
登録ボランティア数 20名
学校地域コーディネーター 田中和子



「ほうっぴー」
90周年記念
キャラクター

分類 学習支援・環境整備支援・その他（行事支援 働き方改革 地域連携 一貫プラン 他）

地域のことを学ぶ

2年生活科 町たんけん

事業の背景・目的

子どもたちが地域にあるお店や公共施設に行き、そこで働く方々からどのようなお仕事をしているかインタビューする授業である。ボランティアが学習を支えている。

事業の概要

子どもたちはあらかじめグループで質問事項を準備し、質問担当者も決め学校を出発、班ごとについてボランティアが子どもたちと訪問先とのやりとりをサポートする。

特徴および工夫した点

学校から近いお店・遠いお店があるので、教員は機敏に自転車で各グループを見回ってボランティアを助け、時間内で戻れるようアドバイスした。

成果

ボランティアが臨機応変に子どもたちとお店とのやり取りを調整してくれた。子どもたちも熱心にメモを取りお仕事の内容を聞き取っていた。



今後の展望

この学びを生かし、後日学校で「発表会」を開き学びの成果をお店・施設の方に披露した。学んだことをクイズ形式にするなど発表に工夫があった。このように地域とのつながりも深めている。

児童・生徒の感想

地域のお店のお仕事がかわしくわかった。楽しかった。
とても緊張したが楽しかった。

学校紹介

学校名 品川区立小山小学校
校長名 森田 佳之
住所 品川区小山5丁目10番6号
電話 03-3781-0044
URL s25gakko-shien@city.shinagawa.tokyo.jp
品川コミュニティ・スクール設置年度平成29年度
登録ボランティア数 92名
学校地域コーディネーター 宮本 庸子



分類 学習支援

2年生 お仕事体験

～ 地元の商店街でお店の仕事にチャレンジ！！ ～

事業の背景・目的

生活科の学習の一環で行った。1学期の町たんけんでは、学校の周りには多くのお店があることに気付いた。2学期は、各お店に分かれ、実際にお仕事の体験をした。

事業の概要

戸越公園駅前南口商店街の9店舗で行った。お仕事の体験をするとともに、接客で大切にしていることや工夫、努力していることなど、お店の人たちの思いについて学習した。

特徴および工夫した点

事前学習で、商店街の会長さんの講話を聞いた。また、当日の流れがスムーズになるように、知りたいことや質問したいことを児童に聞いておき、各お店に事前に伝えておいた。

成果

児童はお店の人の指示で、真剣に楽しく体験する様子が見られた。地元のお店のことを知るよい機会となった。

今後の展望

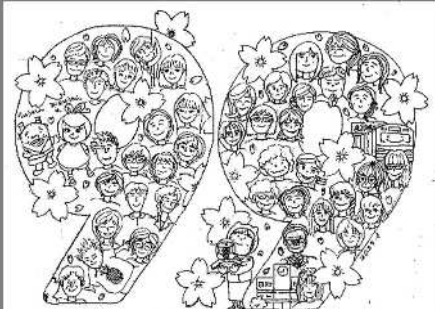
2年生以外の学年でも、町たんけんやお仕事体験とは別の形式で、商店街との交流がもてるとよい。

児童・生徒の感想

- 相手のことを考えて、お水やメニューを提供した。
- レジの仕事が難しそうだったけど、楽しかった。
- 見えやすいように考えながら、商品を棚に並べた。
- 商品の札を、分かりやすいように考えて置いた。
- 大きいベッドがたくさんあって、驚いた。



学校紹介 学校名 品川区立大原小学校
校長名 隈部 洋子
住所 品川区戸越 6-17-3
電話 03-3781-4487
URL <https://school.cts.ne.jp/oohara/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 50名
学校地域コーディネーター 田中 裕美子



分類 学習支援 **環境整備支援** その他（行事支援 働き方改革 地域連携 一貫プラン 他）

🌸 🌸 花ボランティア大活躍！ 🌸 🌸

『宮前小を花いっぱいにしたい！』プロジェクト

事業の背景・目的

日本教育公務員弘済会からの助成でチューリップとムスカリの球根の提供と園芸関係の保護者からの生花の提供をきっかけに、植物を育てることを通して心豊かに、思いやりの心を育み、子どもたちが自主的に環境支援の活動に参加し、花いっぱいの環境に整えることで達成感、ボランティア精神の育成を図る。

事業の概要

- ・チューリップ 315 球、ムスカリ 100 球の栽培活動、校内に配置した生花の整美
- ・花ボランティアの募集（地域、保護者 2 名、児童 1～5 年生 43 名）中休みと昼休みに活動
- ・12 月に球根の植え付け、当番制で週 2 回の水やり

特徴および工夫した点

事前に卒業生の植木職人からいただいた植え付けのアドバイスや、園芸関係のお仕事をされている保護者ボランティアが中心となって、子どもたちへのレクチャーや生花の提供をしてくださるなど、専門的な支援に恵まれた。

成果

自分たちの学校を花いっぱいにするという共通の目標をもって、自らの意志で参加することで大人も子どもも前向きに楽しんで活動ができています。



今後の展望

今後も継続していき、ゆくゆくは地域にも広がり、本校の子どもたちが率先して花いっぱいのまちづくりに関わる取組にしていきたい。



児童・生徒の感想

チューリップはたくさん種類があって驚きましたが、もうすぐいろいろなお花が咲くのがとても楽しみです。校内に素敵な花を飾るのも楽しい活動です。

学校紹介

学校名 品川区立宮前小学校
校長名 板澤 健一
住所 品川区戸越 4-5-10
電話 03-3781-4386
URL <https://school.cts.ne.jp/miyamae/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 30 年度
登録ボランティア数 77 名
学校地域コーディネーター 村田 綾香



分類

広報活動

見える化で成果向上を目指す！

事業の背景・目的

CS活動の周知と理解していただくための一つとして、広報活動は重要と考えCS通信の発行を考えた。
通信の配布先は、家庭・地域町会などにした。

事業の概要

通信の内容は、毎月の学校支援ボランティア活動の報告と、翌月の支援活動の予定を中心に毎月発行した。

特徴および工夫した点

通信の記事掲載では、ボランティア活動に参加した方に活動の感想文を依頼した。掲載時には感想文の個人名記載の配慮、写真掲載では児童のプライバシーにも配慮した。(HP上でも公開のため)

成果

ボランティア活動に参加できなかった方にも通信によって、活動の内容が周知できた。(見える化)

今後の展望

通信を通じて学校・地域・家庭との情報共有が、さらに充実できると良いと思う。

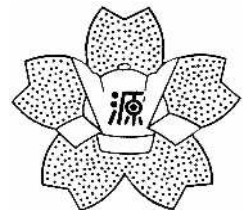
児童・生徒の感想

家庭に持ち帰ったCS通信は、学校支援ボランティアの記事・写真を見て家族で話し合う、話題提供にもつながった。



学校紹介

学校名 品川区立源氏前小学校
校長名 坂詰 晃
住所 品川区中延 6-2-18
電話 03-3781-4348
URL <https://school.ne.jp/genjimaie/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 75名
学校地域コーディネーター 中井 晃



分類 学習支援（地域連携）

地域と共に

成果事例名称 まちたんけん

事業の背景・目的

体験を通して地域への親しみや興味をもてるように、また交流することの楽しさや良さを感じることを目的としている。

事業の概要

施設で働いている方々の様子を見学する。
調べたいこと、疑問に思ったことなどインタビューする。

特徴および工夫した点

地域の中で児童が興味をもった施設を中心に、様々な職種に受け入れをお願いした。
（今年度の協力先は21か所）
訪問時の各グループの付き添いとしてボランティアを募集。

成果

地域の中にどんな施設があるか、また普段は見ることのできないバックヤードなど見学するなど貴重な体験ができ興味をもてるようになった

今後の展望

今回できた縁を大切にしながら、地域とのパイプを強くしていきたい



児童・生徒の感想

いろいろな場所のことを知ることができて楽しかった。
質問して知らないことが分かってよかった。

学校紹介

学校名 品川区立第二延山小学校
校長名 伊藤健治
住所 品川区旗の台 1-6-1
電話 03-3781-1348
<http://school.cts.ne.jp/enzan2/index.html>
品川コミュニティ・スクール設置年度 29 年度
登録ボランティア数 地域 20名 保護者 50名
学校地域コーディネーター 石坂 美苗



分類 学習支援

・・・カメラは友だち・・・

6年生 図工科 写真学習プログラム

事業の背景・目的

日本写真家協会の皆さんにより2回にわたる授業を行った。プログラムでは作品としての構図設定や、カメラの扱い方、写真撮影のマナーなど具体的に学び、楽しみながらも学びの多い時間となった。

事業の概要

- ① カメラについて、撮影マナー、撮り方のコツの講義。
- ② 実際に一人一台のカメラを1週間貸し出し、学校や家庭で撮影。
- ③ 一人につき一枚ずつ良い作品を写真家が選定し、プリントしたものを講師による講評。

特徴および工夫した点

日本写真家協会によるプログラムの告知を受け、校内で相談。6年生の卒業に向けての取り組みとして図工専科教諭と協働した。楽しんで終わりではなくそれぞれの作品は卒業式に展示するなど、身近にある大切なもの、思い出に心を向けていかれるように工夫をした。

成果

専門家の指導により、写真撮影を通して日常にあるものの美しさ、面白さに気付くことができた。

今後の展望

プロの方の直接指導を受けて、普段体験できないようなことができる機会を設けていけたらと思う。



児童・生徒の感想

たまたま気軽に撮ってみた写真が選ばれたりしていて驚いた。写真にしてみるとかっこいいものがたくさんあることに気づいた。

学校紹介 学校名 品川区立後地学校
校長名 西川 幸延
住所 品川区小山 2-4-6
電話 03-3781-0890
URL <https://school.cts.ne.jp/ushiroji/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 100名
学校地域コーディネーター 右城 香奈恵



★キラりん★

分類 学習支援

目指せ！！バスケットボール選手

プロバスケットボール選手に学ぶ「バスケットボール教室」

事業の背景・目的

戸越体育館を拠点としている、品川CITY BASKETBALL CLUBの選手をお招きして、バスケットボールの指導をしていただいた。

事業の概要

品川CITY BASKETBALL CLUBの選手から、ドリブルの練習、パスやシュートの仕方を教わり、最後に選手対児童全員で練習試合を行った。

特徴および工夫した点

身長差のあるプロの選手との合同練習で、本番さながらのプレイを体験し、子ども達がバスケットボールに関心を持つようにしている。

成果

バスケットボールで、必要なことは、俊敏な動きとチームプレイが大切である事がわかった。



今後の展望

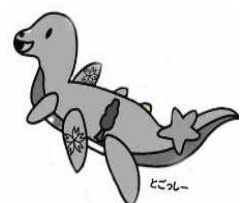
実際に試合観戦に行きプロ選手のプレイを見て、バスケットボールへの興味や関心を高めさせたい。

児童・生徒の感想

プロ選手の豪快なダンクシュートや、素早いボールのパス、ドリブルを見てすごい！と思いました。

学校紹介

学校名 品川区立戸越小学校
校長名 川田 重久
住所 品川区豊町2-1-20
電話 03-3781-2856
URL <https://school.cts.ne.jp/togoshi/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 30名
学校地域コーディネーター 木村 陽子



分類 学習支援

働かってどうということ？ 「ドリームジョブ」

事業の背景・目的

5学年の児童を対象に、将来の夢や生き方、職業について考えるきっかけとなるよう、多様な職業観に触れる機会を設けたい。

事業の概要

4名の講師（建築設備工事、ダンサー、手術室看護師、電気工事士）に仕事の内容や仕事に対する思いを話して頂いた。

特徴および工夫した点

保護者や卒業生といった身近な方たちを講師に招き、2つの教室に2名ずつに分かれて、スライドなどを交えながら、お話いただいた。児童は全員が4名の講師のお話が聞けるように、途中で休憩をはさみながら教室を入れ替える形式で進化した。

成果

講師の方々の話を聞き、夢を実現するために今から何ができるのかを考え始める姿がみられた。



今後の展望

講師の方々にも好評だったので、地域にも広く呼び掛けて、講師のバリエーションを増やしていきたい。

児童・生徒の感想

講師の方たちのお話を聞いて、初めて知ることが沢山あった。夢をかなえるには、今からできることが沢山あることを知った。

学校紹介

学校名 品川区立旗台小学校
校長名 保土澤 尚教
住所 品川区旗の台 4-7-11
電話 03-3785-1687
URL <https://school.cts.ne.jp/hatano/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 45名
学校地域コーディネーター 近藤 直子



91th hatanodai

分類 **学習支援**・環境整備支援・その他（行事支援 働き方改革 地域連携 一貫プラン 他）

みんなうちの子

家庭科調理実習の支援

事業の背景・目的

子どもたちが安心・安全に家庭科の調理実習に取り組めること、子どもたちと保護者、保護者同士のつながりをつくることを目的に保護者にボランティアを募って行った。

事業の概要

調理実習授業前の準備から、実習中の刃物や火の扱いの見守り、実習後の調理器具の片付け・流し台の清掃に至る片付けまでをボランティアにお願いした。

特徴および工夫した点

保護者にはたくさん子どもたちと交流することをねらいとして、自分の子どもがいない班で活動していただいた。

成果

自身の子ども以外の児童とも関わることで、子どもたちと保護者との繋がりをつくることができた。



今後の展望

これからも保護者が子どもたち、また保護者同士が関わる機会をつくり、関わる全ての人で子どもたちを育てていける関係をつくっていきたい。

児童の感想

友だちのお母さんと調理実習をしてたくさん話したり、安全に取り組んだりすることができて楽しかった。

学校紹介 学校名 品川区立上神明小学校
校長名 滝沢 二三雄
住所 品川区二葉4丁目4-10
電話 03(3781)4792
URL <https://kamishinmei-es.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 28年度
登録ボランティア数 21名
学校地域コーディネーター 小宮 佳美



分類 環境整備支援・その他

「品川コミュニティ・スクール DAY in 清水台小学校」

6年生の「よりよい学校にしていくための委員会活動」
～各委員会の立場で「いい学校とは？」を考える。～

事業の背景・目的

児童が、自分たちの委員会の存在意義を感じ、自分たちで清水台小学校をさらにいい学校にしていくんだ！清水台小学校をいい学校にできた！と言えるようにしたいと考えている。

事業の概要

「より良い学校づくり」を目的に据え、児童が各委員会の立場から「いい学校とは？」を考えた。

特徴および工夫した点

- ・各委員会が目指す「より良い学校像」を明確にしたこと。
- ・教員や校区教育協働委員の方々に実際に提案をし、実現可能な内容にしたこと。

成果

・児童が学校全体に目を向けるようになり、提案した以上の取り組みを委員同士で連携し新たな方向性を与えることができた。

今後の展望

・来年度以降も、児童が主体的に委員会活動に取り組む風土を定着させ、さらなる発展を目指していきたい。

児童の感想

- ・自分たちの意見を尊重してもらえたとし、先生方や保護者の皆さんにもアドバイスをもらって今後の委員会活動に生かしていきたいと思いました。
- ・「普段から頑張ってるね」と褒めてもらえてうれしかったです。
- ・これからも委員会活動をがんばっていきます。



学校紹介 学校名 品川区立清水台学校
校長名 高橋 健一
住所 品川区旗の台1-11-17
電話 03-3781-4841
URL <http://school.cts.ne.jp/smizudai/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 29年度
登録ボランティア数 19名
学校地域コーディネーター 湯川 泉



分類 学習支援

様々な職業の方に話を聞いて 仕事について考えよう

ドリームジョブ(6年生)

事業の背景・目的

本校初の試みとなるドリームジョブ、大人になる事、仕事をする事、興味を仕事へ実現させる事を学んで欲しい。

事業の概要

地域で様々な仕事についている方々を講師としてお迎えし、話を聞くことで職業について興味を持ち、自分の将来について考え、実現させる具体的な方法を学ぶ。

特徴および工夫した点

卒業生、地域の方を中心に講師の手配をする事によって、こども達に仕事に対して親近感を持ってもらうとともに、知らない職業についても知ってもらう様に工夫した。

成果

事前受業で講師の職業を調べ、聞いた事のない職業や、地元の企業や店舗について、深く知る事が出来た。



今後の展望

こども達も講師の方達も新たな発見があり、お話を聞かなかで、もっと知りたいという気持ちが増えた。今後も継続して行っていきたい。

児童・生徒の感想

生きるためやお金の為だけではなく、みんなのためになることを大切にしながら仕事をしていることがわかり、自分もそのような職業を見つけたい。

学校紹介

学校名 品川区立小山台小学校
校長名 大沢 一郎
住所 品川区小山台 1-18-24
電話 03-3712-7587
URL <https://school.cts.ne.jp/koyamada/>
品川コミュニティ・スクール設置年度平成 30 年度
登録ボランティア数 136 名
学校地域コーディネーター 飯野 貴子



分類 学習支援

ドリームジョブ（7年生）

事業の背景・目的

社会で働く人たちの話を聞くことで、自己の将来の進路を考えるきっかけにする。
「仕事」に対する思いに触れ、「働く」ことについて意識を高める。

事業の概要

多様な職種のゲストティーチャーを10名招聘。1クール50分を2クール。
生徒は2社の話を聞くことができる。（写真はヘアメイク会社）

特徴および工夫した点

一般企業、公務員など生徒たちが普段目に触れないような多種多様な職種の方を招聘した。
講話だけでなく、可能であれば実技を入れてもらうように依頼した。

成果

生徒たちが職業を意識するきっかけになり、企業の方たちに中学生を知ってもらうこともできた。



今後の展望

生徒たちの触れたことのない職業からも、気づきを学べるようにしていきたい。

児童・生徒の感想

- ・仕事はもっとつまらなくてきついものだと思っていたが楽しそうでやりがいがありそうだとわかった。
- ・目立たない仕事にも興味を持ち、裏の仕事にも挑戦しようと思った。

学校紹介

学校名 品川区立東海中学校
校長名 蜂屋 隆子
住所 品川区東品川 3-30-15
電話 03-3471-6951
URL <https://school.cts.ne.jp/tokai/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 10名
学校地域コーディネーター 月岡 明希子



分類 学習支援 (地域連携)

ゆかたを着て、地域とつながろう！

地域の方に教わる浴衣着装体験学習

事業の背景・目的

8年生の家庭科「和服の文化」を通して和服に関心をもったことをきっかけに、浴衣の着方を地域の方から教わることで、生徒全員が自分で浴衣を着られるようになるとともに、地域の方々とのつながりを深め、地域を大切に作る気持ちを育む。

事業の概要

地域の和服店「きもの たか」様に講師としてご協力いただき、浴衣の着付けを教わった。地域の方々や保護者にもご支援いただき、生徒全員が浴衣を着られることを目標とした。また、地域の素敵なお店や先輩方の存在に気付いてもらう機会とした。

特徴および工夫した点

浴衣の着装を地域の方々から直接学ぶことで、日本の伝統文化への理解を深めるとともに、地域とのつながりに興味を持つきっかけとした。

早い段階から協力依頼を行い、事前の打合せを重ねることで、必要な数の浴衣を借りることもでき、事業の円滑な実施につながられた。

成果

授業内で生徒全員が浴衣を着られるようになり、和服の文化を身近に感じる事ができた。また、地域の方々との交流も深まり、学びが広がる貴重な機会となった。



今後の展望

毎年恒例の取組とし、生徒全員が浴衣を着て地域の方々と一緒に「品川音頭」を踊るなど、地域行事へと学びを広げていきたい。

児童・生徒の感想

いつも祖母に着せてもらっていたが、今度は自分で着ることに挑戦してみたいと思った。お祭りや花火大会でも着てみたい。

学校紹介

学校名 品川区立大崎中学校
校長名 実松 美智代
住所 品川区西品川 3-10-6
電話 03-3491-6623
URL <https://osaki-jh.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 35名
学校地域コーディネーター 深田 とし子



サキチュウレンジャー
(75周年を記念した大崎中キャラクター。ヘッドの部分は、校章を表している。)

分類 学習支援・環境整備支援・**その他** (特色のある教育)

いざ高知へ 高知絆プロジェクト

Moo.念平先生のまんが道場

事業の背景・目的

次年度より修学旅行先が高知県となる。事前授業として高知県の特色まんが王国土佐について学び見分を広げる。表現する楽しさや自分の考え思いを伝える力を高める。

事業の概要

漫画家 Moo.念平先生をお迎えして絵で表現するときのコツやセリフの入れ方などを指導していただき、講評してもらった。高知県東京事務所の方からなぜまんが王国なのかを話してもらった。

特徴および工夫した点

初めて取り組む事業のため高知県東京事務所にコーディネートをお願いし、事前授業として興味がわき、修学旅行への思いがふくらむ題材を検討。まんがで自分の思いを伝えることができるという体験をつくった。

成果

普段言葉ではうまく表現できない生徒も積極的に絵やセリフを使い授業に参加した。



写真

今後の展望

高知県や土佐藩について小中一貫で歴史を含めた探求的学びができるといいと思う

児童・生徒の感想

Moo.念平先生から講評をもらってうれしかった。まんが王国土佐について学び、高知へ行くことが楽しみです。

学校紹介

学校名 品川区立浜川中学校
校長名 小野 智
住所 品川区東大井 3-18-34
電話 03-3761-1014
URL 03-3761-3956
品川コミュニティ・スクール設置年度平成 28 年度
登録ボランティア数 20 名
学校地域コーディネーター 巻島 淳子



はまりょう

分類 学習支援

地域で見守り、頑張れ受験生！

英検・漢検 試験監督ボランティア

事業の背景・目的

本校（準会場）で検定試験を実施するにあたり複数の教室監督者が必要となった。特に英検は年1回公費受験ができるため、多くの生徒が受験するという背景もある。生徒たちが安心して受験するための環境を整えることが最大の目的である。

事業の概要

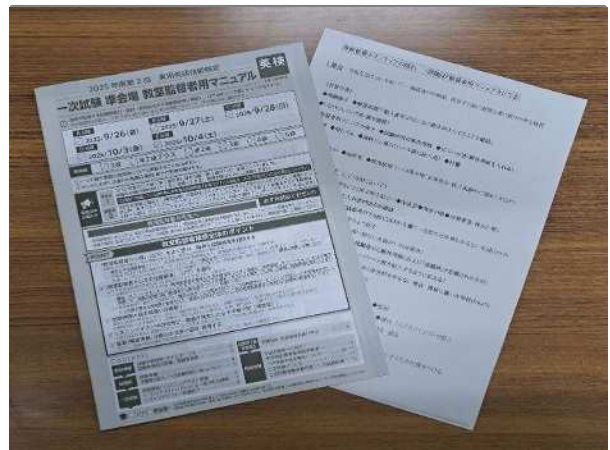
学校支援ボランティアが試験監督として、英検・漢検を本校（準会場）で受験する生徒に対応する。概要の説明、問題用紙・解答用紙の配布から記入のチェック、試験中の巡回やリスニングテストの機器操作など、教室監督者としての業務全般を担う。

特徴および工夫した点

今年度より英検に準2級プラスが導入されたことで、ボランティアの増員が求められた。必要人員数確定後、速やかに担当教諭と打合せを実施、ボランティアへの声かけ及びボランティア養成講座修了者への依頼により、新規も含め人員確保ができた。

成果

経験者を中心に新規ボランティアにもわかりやすい独自マニュアルを作成した。また、毎回の反省を活かした対応の改善も進めることができた。



今後の展望

急な欠員が出た際にも対応可能な人員配置を、地域との繋がりを活かして人材発掘を継続しながら進めていく。

児童・生徒の感想

学校で受けられるのがいい、周りが友達なので安心できる等

学校紹介

学校名 品川区立鈴ヶ森中学校
校長名 野口 芳一
住所 品川区南大井2-3-14
電話 03-3765-2849
URL <http://school.cts.ne.jp/suzu-j/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
学校地域コーディネーター 奥田 智子



分類 学習支援・環境整備支援・その他（行事支援 働き方改革 地域連携 一貫プラン 他）

中学生が地域の防災を担う

富士見台中学校 学生消火隊の訓練

事業の背景・目的

学校・地域の防災力を強化するため、生徒がD級ポンプの取り扱いができるようになることを目標に行った。

事業の概要

学生消火隊を結成し、当該生徒がD級ポンプの取り扱いを学ぶ。
第三地域防災訓練での地域・学生消火隊の操法訓練に向けて訓練を行った。

特徴および工夫した点

昨年はD級ポンプの指導を大井消防団と連携して行ったが、今年は自分一人で指導を行った。消防について興味をもち生徒が主体的に活動できるような環境づくりをした。

成果

ホースの展張や放水時の水圧を感じるなど、D級ポンプ操作を学び自分たちでできるようになった。自分から志願したメンバーが集まった。



今後の展望

D級ポンプ操作以外の消防に関する活動もしたい。



児童・生徒の感想

自分から志願して集まった生徒だったので、すべての活動において主体的に行っていた。

学校紹介

学校名 品川区立富士見台中学校
校長名 石黒 晋
住所 品川区西大井 5-5-14
電話 03-3772-0900
URL <http://school.cts.ne.jp/fujimi/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 0名
学校地域コーディネーター 鈴木 雅也



分類 学習支援・環境整備支援・その他（行事支援、働き方改革、地域連携、一貫プラン、他）

「仕事をするって…」大人にきこう

ドリームジョブ（8 学年生）

事業の背景・目的

「大人になって“仕事をする”とはどういうことか」「日常生活で享受しているサービスはどのようにして提供されているか」を子どもたちが知る機会を提供する。

事業の概要

地元の商店から品川区に拠点を持つ企業まで様々なジャンルでご活躍されている方をお招きして、その職業についての説明や簡易業務体験などを実施いただいた。

特徴および工夫した点

来校にあたり「職場の服装で来てほしい」旨をお願いした。講師の方には「商品・製品」や「仕事で使う機材」を持ち込んでいただけたので、生徒は直に見て体験することができた。

成果

仕事を選択していくにあたり、大切なポイントや温かなコメントをたくさん頂いた。



今後の展望

「仕事を選んだ理由」「仕事の楽しみや苦勞」を生徒がイメージしやすい進め方を考えたい。

児童・生徒の感想

普段の生活の中ではみえない仕事の仕方などを知ることができておもしろかった。

学校紹介 学校名 品川区立荏原第一中学校
校長名 黒田 佳昌
住所 品川区荏原1丁目24-30
電話 03-3785-1680
URL <https://ebar1-jh.shnagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 30年度
登録ボランティア数 名
学校地域コーディネーター 橋本 直樹



分類 学習支援

しながわ寺子屋（しながわドリームジョブ）

事業の背景・目的

様々な企業人・専門家との出会いにより、自分の進路を見つけ、自らの人生観を構成するきっかけとする。

地域の企業と協力し、就労の楽しさを伝えるとともに、働くことの意義を考える。

事業の概要

6社の企業の方に講師として来ていただき、仕事のこと・働く上で大切にしていること・学生時代のことなどをお話していただく。生徒は2社の話を伺う。

特徴および工夫した点

来年度の職場体験に繋がる学びとなるよう、先生から講師の要望をお聞きし依頼した。生徒が講師に聞きたいことのアンケートを事前に取り、前もって講師の方にお伝えした。

成果

生徒が興味あることを、また普段聞くことができない貴重な話を聞くことが出来た。



今後の展望

企業との連携を深めて、より充実した機会となるようにしていきたい。

児童・生徒の感想

・世の中には色々な仕事があり、あまり目立たない仕事でも重要な役割を果たしているのだと思った。

・寺子屋を通して、チームワークとコミュニケーション力が大切だと気づき、営業とかその他にも協力して仕事をする人が多いから大切にしていこうと思った。

学校紹介

学校名 品川区立荏原第五中学校

校長名 伊藤 恵造

住所 品川区旗の台5-11-13

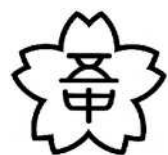
電話 03-3781-5643

URL <https://ebaras5-jh.shinagawa.andteacher.jp/>

品川コミュニティ・スクール設置年度 29年度

登録ボランティア数 11名

学校地域コーディネーター 高橋 みゆき



分類 学習支援・環境整備支援・その他（行事支援 働き方改革 **他或連携** 一貫プラン 他）

区内一斉防災訓練

事業の背景・目的

学校・地域・自治体が協力し、災害時の「共助」の力を高めるために実施した。

事業の概要

生徒会が中心となり、地域・自治体と話し合いを重ね、学校での避難所設営訓練を実施した。

特徴および工夫した点

生徒の主体的な参加を促すために、全ての生徒に役割が与えられるようなグループ設定をした。

成果

全ての生徒が主体的に取り組み、地域の方々と連携を図ることができた。



今後の展望

継続し、訓練を重ねる事で、単なる知識の習得にとどまらず、実践的な「地域防災力の向上」という成果が得られると感じた。

児童・生徒の感想

日頃から地域の方とコミュニケーションを取ることで、自然と「共助」が生まれてくると思った。災害時にはこの経験を活かし活躍したい。

学校紹介 学校名 品川区立荏原第六中学校
校長名 稲葉慶太
住所 品川区小山5-20-19
電話 03-3781-7776
URL <http://school.cts.ne.jp/ebara6>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 3名
学校地域コーディネーター 吉野由紀子



分類 学習支援・その他 (地域連携)

疑似体験を通して福祉を考える

7年生「福祉体験学習」

事業の背景・目的

福祉体験学習は疑似体験などを通し障がいのある方や高齢者との関り方について考え、福祉のあり方を理解するという目的がある。担当教員より、車いすと白杖を学習に使用したいとの依頼があった。

事業の概要

高齢者疑似体験は視覚の遮断と加齢を両方体験する。
車いす疑似体験は段差などがあるコースを、車いすを押すことと試乗を体験する。
視覚障がい者疑似体験は視覚の遮断を体験する。

特徴および工夫した点

車いすは特別養護老人ホームより借用し、今回はスタッフの方から取り扱いの説明をしていただいた。視覚障がい者疑似体験では、白杖を使用して体験する授業は今回が初めてで、白杖は品川ボランティアセンターから借用した。また、視覚を遮断して料理を取る体験では、学校支援ボランティアの方に粘土で料理サンプルを作成してもらい、よりリアリティーのある物にした。

成果

車いすの使い方は、専門の方に聞くことで理解が深まった。本物の白杖を使用したことで、使用している人の気持ちを考えることができた。



今後の展望

戸越台中学校と戸越台特養ホームは同じ建物なので、授業だけでなく、いろんな場面で連携していきたい。

児童・生徒の感想

車いすを押している時は気づかなかったが、乗ってみるとかなり振動があった。
視覚がないことは怖くて、その人の気持ちがわかった。

学校紹介 学校名 品川区立戸越台中学校
校長名 堀井 昭宏
住所 品川区戸越 1-15-23
電話 03-3781-6250
URL <https://school.cts.ne.jp/togosi-j/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 28名
学校地域コーディネーター 原野 美智子



分類 学習支援・その他 (地域連携)

地域にゆかりのあるお店でキャリア教育

「4 学年ラーメン教室」手包みわんたん麺 広州市場

事業の背景・目的

- 地域で働く人々の役割を理解し、感謝の気持ちを育む。
- 身近な食べ物を自分たちの手で作る体験を通して、興味・関心の幅を広げる。

事業の概要

本校の卒業生であるオーナーのご厚意により、伝統的に実施されている。お店の方々による実演の見学、お店や名物のわんたんにまつわるクイズ大会、児童一人一人によるわんたん麺の調理、試食を通して学習した。

特徴および工夫した点

お店までの往復では交通安全に配慮し、店内では安全確保に向け、誘導を行った。実施後には、子どもたちによるお礼のメッセージを掲示物にしてお店に贈り、感謝の気持ちを伝えた。

成果

お店の方々との交流、わんたんやラーメンの調理を通して、お店への親近感が生まれ、地元のお店への愛着が子どもたちに芽生えたりした。



ラーメン教室



御礼の手紙

今後の展望

広州市場を通して他のお店にも興味をもたせたり、五反田の町の歴史を調べたり、よりよいまちづくりに向けて考えたりして、探究的な学習を深めていく。

児童・生徒の感想

大きな声で返事をしたり挨拶をしてくれたりしてとても元気な店員さんだった。体験やクイズを通してお店で働く人のすごさや工夫が分かった。

学校紹介

学校名 品川区立日野学園
校長名 守屋 直孝
住所 品川区東五反田2-11-1
電話 03-3441-3209
URL <https://school.cts.ne.jp/hinogaku/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 15名
学校地域コーディネーター 田辺 優美子・八島 阿矢子



分類 その他（地域連携）

開校21年目の未来に向けて 品川コミュニティ・スクールDAY

事業の背景・目的

しながわ義務教育学校シンポジウムを前に、児童生徒会役員と校区教育協働委員が、21年目の日野学園へ向けて熟議した。

事業の概要

「1年生から9年生が同じ校舎で過ごすことの良さは何か」「本校に通わせてよかったなどの日野学園の良さや魅力や頑張っていること」「これからの日野学園をこうしていきたい」の三つのテーマについて、熟議した。

特徴および工夫した点

日野学園開校時を知る委員や委員の年代、児童生徒会の学年などの偏りがないように考慮の上、熟議のグループを編成した。当日、グループ毎に自己紹介を行い、司会・書記を決め、熟議した。その後、全体会で熟議の内容を発表し合い、共有した。

成果

児童生徒会役員は思いや考えを伝え、校区教育協働委員からヒントやアイデアをいただくことができた。



今後の展望

児童生徒会役員の企画・提案について熟議を行い、熟議で出たアイデアや意見を実現していきたい。

児童・生徒の感想

地域の大人と話す機会が少ない中、とても貴重な経験をもつことができた。地域の大人と話せる機会や共に活動できる機会を通して、さらに助け合っていきたい。

学校紹介

学校名 品川区立日野学園
校長名 守屋 直孝
住所 品川区東五反田2-11-1
電話 03-3441-3209
URL <https://school.cts.ne.jp/hinogaku/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 15名
学校地域コーディネーター 田辺 優美子・八島 阿矢子



分類 **学習支援**・環境整備支援・その他（行事支援 働き改革 地域連携 一貫プラン 他）

「働くということ」についての理解を深める

8年生 職場体験

事業の背景・目的

実際に仕事を体験し、働くことの意義を働いている人から直接聞いて学習し、進路の参考として今後に生かすとともに、社会人としてのルールやマナーを学ぶ。

事業の概要

事前の打ち合わせ訪問の電話連絡から生徒が行い、区内の約57の協力事業所で2名～5名程度の生徒が、2日間実際に行っている仕事を体験した。

特徴および工夫した

生徒147名の受け入れ事業所を確保するため、新規受け入れ先を増やし、約60社に連絡し協力を依頼した。極力依頼状は直接持参して挨拶するなど、信頼関係構築に務めた。

成果

昨年度より、事業所の範囲を広げ、ホテル、博物館、JR車両工場、JALなど新規に受け入れ先を確保出来た。



今後の展望

担当教員との打ち合わせを密に行い、生徒の有意義な体験の場を様々なジャンルで増やしていきたい。

児童・生徒の感想

有意義な体験ができ、とても良かった。このような体験のために様々な準備をさせていただき感謝しています。

学校紹介 学校名 品川区立伊藤学園
校長名 野口 大和
住所 品川区大井5-1-37
電話 03-3771-3374
URL <http://itogaku.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 88名
学校地域コーディネーター 久保田千晶 田中麻美



分類 **学習支援**・環境整備支援・その他（行事支援 働き改革 地域連携 一貫プラン 他）

「とどけよう！すてき 大好き 西大井」

2年生 生活科町探検

事業の背景・目的

校内研究授業で、2年生は、生活科町探検で地域の施設や店舗を探検して調べ、自分たちで見つけた「まちのすてき」を発表する。

事業の概要

西大井近隣の施設や店舗を、グループ毎に訪問し、見学・質問やインタビューを3回に分けて実施した。ボランティアをグループごとに配置し、サポートを依頼した。

特徴および工夫した点

西大井地区内では、探検先が限られるので、探検先を近隣の施設・店舗に広げて連絡し訪問、依頼した結果、21の施設・店舗に協力いただくことが出来た。

成果

グループ毎に、ボランティア1人での付き添い見守りをお願いし、無事安全に終わることが出来た。



今後の展望

さらに、いろいろな施設・店舗にご協力いただけるように、今後とも地域との関係を深めていきたい。

児童・生徒の感想

見守ってくれてありがとうございます。おかげで安心して質問することができました。

学校紹介

学校名 品川区立伊藤学園
校長名 野口 大和
住所 品川区大井5-1-37
電話 03-3771-3374
URL <http://itogku.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 88名
学校地域コーディネーター 久保田千晶 田中麻美



分類 学習支援

「町たんけん（2年）、スーパー見学（3年）」

～興味から体験へ、八潮地域でつながる～

事業の背景・目的

町たんけん（2年）・スーパー見学（3年）等で地域の様々な事業所・職業への理解を深め、興味をもつ「きっかけ」とし、ドリームジョブ（7年）職場体験（8年）での学習へつなげる。

事業の概要

学年で、グループやクラスに分かれて事業所を訪問する。事業所内見学や説明、質疑応答を通して各事業所について理解を深める。

特徴および工夫した点

8年「職場体験」等での受け入れ依頼では、3年「スーパー見学」、2年「町たんけん」で訪問した事業所に対して、教育効果を説明して、積極的に依頼した。

成果

実際に職場体験をしている生徒を児童が見学することにより、将来の学習体験を考えるきっかけとなった。



今後の展望

八潮パークタウン内および近隣の連携事業所を増やし、児童生徒の様々な理解を深める一助としていきたい。

児童・生徒の感想

スーパーではいろいろな工夫をしているんだ。
買いたくなる工夫を見つけたよ（3年）

学校紹介

学校名 品川区立八潮学園
校長名 夏井 真一
住所 品川区八潮5-11-2
電話 03-3799-1641
URL <https://yashigaku.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 78名
学校地域コーディネーター 金子純子 片岡紀子



学習支援・環境整備支援・その他（行事支援 働き方改革 地域連携 一貫プラン 他）

分類

「〇〇の場面で災害が起きたら何ができるか」 「〇〇の場面での災害に備えて何ができるか」 ～防災教育 品川コミュニティ・スクールDAY 熟議～

事業の背景・目的

八潮学園では、「防災教育」の重点校として、1年生から9年生までの全学年において、発達段階に応じた防災教育を実施した。市民科授業地区公開講座の防災教育を受けて、「八潮地域における防災」の重要性について地域とともに考えていきたい。

事業の概要

「避難所生活の実態」「八潮地区の防災時の【自助・共助・公助】の在り方」「災害時の車イス利用者の実技演習」「しながわ防災ジュニアプロジェクト」「八潮の消防」など防災授業を受けたコミュニティ・スクールDAYにおいて、改めて地域や保護者、教職員、生徒で授業内容を振り返り、八潮地区の必要な防災の在り方について熟議をした。

特徴および工夫した点

保護者、地域、教職員、生徒のメンバーがグループになって、八潮地域での様々な場面で災害が起きた時の動きや日ごろからの防災準備備えについて、何をすべきかをそれぞれの立場で考え、情報共有をすることにより、地域の一体感を強めることを目標とした。

成果

普段あまり話すことのないメンバーであったが、同じ八潮地区に住む一員として、改めて防災意識を高めることができた。

今後の展望

防災教育の推進にあたり、地域、保護者を巻き込んで、地域や学校での実情を踏まえた実践的な防災教育の内容を考えていきたい。

生徒・教職員の感想

- 普段から近所の人ともコミュニケーションを取ることがとても大切だと分かった。
- 地域の方は普段話す機会がないので、今回の熟議でどのようなお考えをもっているかわかった。など



学校紹介

学校名 品川区立八潮学園
校長名 夏井 真一
住所 品川区八潮5-11-2
電話 03-3799-1641
URL <https://yashigaku.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 H28年度
登録ボランティア数 78名
学校地域コーディネーター 金子純子 片岡紀子



分類 その他

～学校公開時の休憩処～

荏平（エバヒラ）茶屋

事業の背景・目的

エバヒラには立派な和室があるので、学校のアピールとボランティアの勧誘を兼ねて、学校公開で来校した保護者や地域の方々に和室を開放して休憩してもらう。また、茶道ボランティアに茶道教室以外でも活躍してもらう場とする。

事業の概要

年3回の学校公開時の午前中に、和室を休憩処として開放し、抹茶とお菓子を無料で提供する。準備・片付けを含む運営は、茶道ボランティアのメンバーが行う。

特徴および工夫した点

授業見学の合間に、広くてきれいな和室でゆっくりとくつろいでもらえるよう、無料のお茶とお菓子を提供する。抹茶やお菓子の購入には、CSが行っている制服リユースの収益を充てる。茶屋の運営やボランティア活動に興味がありそうな保護者には積極的に声をかけ、ボランティア登録を促す。

成果

毎回多くの保護者や地域からの来校者に利用していただいている。未就学児（特に乳児）を連れた保護者に、休憩場所があることを大変喜ばれている。



今後の展望

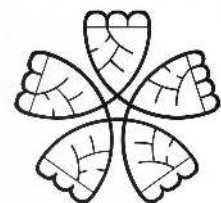
今後も引き続き本事業を継続し、ボランティア活動を周知する場としたい。また、保護者には学校へ足を運ぶ楽しみの1つにしてもらいたい。

保護者の感想

「学校の中に、ほっと一息つけるスペースがあるのはありがたいです。」「赤ちゃんをおろして寝かせられるので、畳のお部屋は助かります。」「昨年学校見学に来た時に茶屋を見て、とても素敵な活動だと思い、この学校を選びました。」

学校紹介

学校名 品川区立荏原平塚学園
校長名 上田 享志
住所 品川区平塚 3-16-26
電話 03-3782-7770
URL <https://ebahira.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 2016年度
登録ボランティア数 60名
学校地域コーディネーター 高田有希子・中林智子



分類 学習支援

将来の仕事について考えよう！

しながわドリームジョブ

事業の背景・目的

様々な職業の方に来ていただき、仕事内容やその仕事を選んだ経緯、やりがいや大変なことについて話してもらうことで、児童生徒に、働くことの目的や意義を理解させる。

事業の概要

5～7年生の児童生徒 271名（特別支援学級含む）を17グループに分け、グループごとに17組の企業の方々の話を聞く。前半・後半各40分ずつの講義で、児童生徒は1人につき2つの企業の話を知ることができる。

特徴および工夫した点

義務教育学校の学年団分け（1-4年・5-7年・8-9年）を意識し、今年度より5～7年生の3学年合同授業とした。多様な職業に触れられるよう、様々な職種の方に声掛けし招聘した。児童生徒たちは、職業についての学びを深められるよう、事前事後学習を行った。

成果

生徒たちは様々な職業があることを知り、5年生のステューデントシティや8年生での職場体験につながる学習になった。



今後の展望

学校近隣の企業や店舗の方に来てもらうことで地域との連携を深め、2年生のお店たんけんや8年生の職場体験の受け入れにつなげていく。

児童・生徒の感想

「仕事とは誰かの役に立つことなのだと学びました。自分も将来、人のためになる仕事がしたいと思います。」「自分がやりたい職業に自由になっていいのだとわかりました。」

学校紹介

学校名 品川区立荏原平塚学園

校長名 上田 享志

住所 品川区平塚 3-16-26

電話 03-3782-7770

URL <https://ebahira.shinagawa.andteacher.jp>

品川コミュニティ・スクール設置年度 2016年度

登録ボランティア数 60名

学校地域コーディネーター 高田有希子・中林智子



分類 学習支援

「町の人に学ぶ」

パン屋さんに行こう

事業の背景・目的

5組（前期課程支援級）児童が、地域のお店に興味関心をもつことで、地域との関わりに興味・関心をもつことができるようにする。また、パン作り体験を行うことで、身近な食品について学習し、今後の生活に活かす。

事業の概要

お店を訪問し、場所・外観・パンの種類を知り事前学習をする。（11/25）
パン作りの工程を学び、パン生地を形成しオーブンで焼きあげ食し、お店の方に質問をする。（11/27）

特徴および工夫した点

「地域の職人さんに学ぶ」学習として毎年、担当教員と相談し地域でできる体験学習を検討している。

成果

実際に地域の店舗を訪問する経路で、地域を知る・商店街を知る・興味をもつことにつながっている。

今後の展望

今後も地域を知る体験を重ねることを継続したい。



児童・生徒の感想

パン作り楽しかった。上手く形成できた。チーズ・チョコレートを入れるのは難しかったが、自分で作ったパンは美味しかった。

学校紹介

学校名 品川区立品川学園
校長名 小宮山 琢磨
住所 品川区北品川 3-9-30
電話 03-3474-2671
URL <http://school.cts.ne.jp/shinagaku/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 令和7年度
学校地域コーディネーター 加瀬谷 牧子 扇谷 和子



SHINAGAWA
GAKUEN

分類 学習支援

7年 しながわドリームジョブ

事業の背景・目的

大きな組織としての企業努力を学び、いろいろな職種について知り、そこに携わる人の思いを知る。様々な分野の職業に方の話を聞き、興味を持ち将来について考え、実現させるための具体的な方法を学ぶ。

事業の概要

ドリームジョブの授業を対面形式とオンライン形式の二本立てとし、地元にある企業より2名の社員にきていただき企業努力とそのための社員としての取組、またいろいろな職業のプロの方とオンラインで繋ぐ団体から、4つの職種の方に講義を依頼した。

特徴および工夫した点

より具体的に職業を学ぶために、違う側面（組織の中の仕事と様々な分野での職業）からの話を聞き職業選択について考えを深められる構成にした。

成果

自己の可能性を実現するために、今できることに気が付くことができた。

今後の展望

オンライン講義は団体から事前にドリームノートが指定されていたため、生徒各自が内容をまとめやすいものになっていたため、活用していきたい。

児童・生徒の感想

身近な企業と思っていたが、海外展開や、眼に見えない部分の工夫や努力を知った。



学校紹介 学校名 品川区立品川学園
校長名 小宮山 琢磨
住所 品川区北品川 3-9-30
電話 03-3474-2671
URL <http://school.cts.ne.jp/shinagaku/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
学校地域コーディネーター 加瀬谷 牧子 扇谷 和子



SHINAGAWA
GAKUEN

分類 学習支援・環境整備支援・その他（行事支援 働き方改革 地域連携 一貫プラン 他）

今夜はおでん？

前期課程特別支援学級 冬野菜栽培

事業の背景・目的

野菜を育て、収穫することで、責任感や食べ物大切さを学ぶ。

事業の概要

キュウリ、ピーマン、ニンジン、ゴーヤ等が終わってから雑草とりや起耕等をして、大根を植えた。それほど大きく太くはならなかったが手ごたえを感じた。

特徴および工夫した点

畑のボランティアさん方のスケジュール調整、支援級の授業とのすり合わせ等を丁寧に行った。

成果

思いのほか豊作だった。子どもたちに自分たちの畑で冬も作物ができることを実感してもらえた。



今後の展望

品種を増やしていきたい。
間引きをまめにしたい。

児童・生徒の感想

いっぱい大根が収穫できてうれしかった。すごいと思った。たくさんの大根を運ぶのが大変だった。

学校紹介 学校名 品川区立義務教育学校 豊葉の杜学園
校長名 柳岡 裕幸
住所 品川区二葉一丁目3-40
電話 03-3782-2930
URL <https://school.cts.ne.jp/hoyomori/>
品川コミュニティ・スクール設置年度平成28年度
登録ボランティア数 約25名
学校地域コーディネーター 河野 孝子 村田 丈一



分類 学習支援・環境整備支援・その他（行事支援、働き方改革、地域連携、一貫プラン、他）

見逃すな！ヒントはそこに

HYM 科学研究所

事業の背景・目的

理科離れが危惧されている。科学の心の醸成と、普通の授業ではできない探究的な学びの受け皿として実施する。

事業の概要

5年生～8年生の希望者を募り、各自の着眼点から研究をして、発表まで行う。数年間研究を熟成させて深まる子どももいる。

特徴および工夫した点

各研究者の段階に応じた助言を適切にできる指導者を選定し、理科の教員とも連携して研究発表まで進めていく。3月時点で次年度の研究内容等決めておくとスムーズ。

成果

「リン酸アンモニウムの結晶の大きさ」「花びらの表面と色素」「様々な方向から風を受けて回るタービン」各研究発表を行った。



今後の展望

日常の些細な気付きを、受け止め発展できる場にしていきたい。教室に居場所のない子どもの居場所にもなる。

児童・生徒の感想

発表で、声の大きさ、スライドの文字の大きさ、動画等、もっと工夫できると思った。

学校紹介 学校名 品川区立義務教育学校 豊葉の杜学園
校長名 柳岡 裕幸
住所 品川区二葉一丁目3-40
電話 03-3782-2930
URL <https://school.cts.ne.jp/hoyomori/>
品川コミュニティ・スクール設置年度平成28年度
登録ボランティア数 約25名
学校地域コーディネーター 河野 孝子 村田 丈一

